

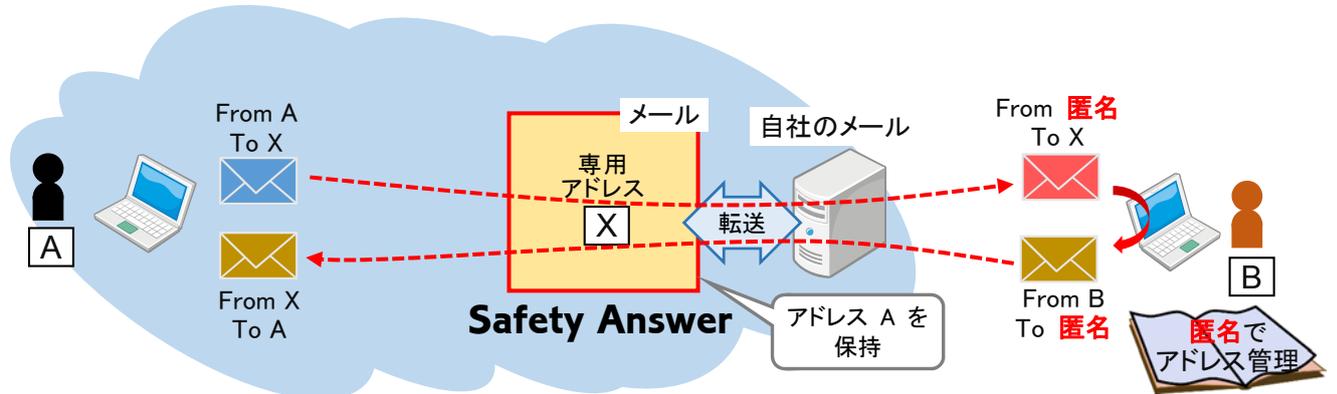
1. 受信メールアドレス匿名化(Incoming Protection)の利用例

個人や企業からのメール連絡や問い合わせを受ける機会の多い企業で、受け取ったメールの送信者アドレスの情報漏えい対策を確実にしたい場合に、効果を発揮します。

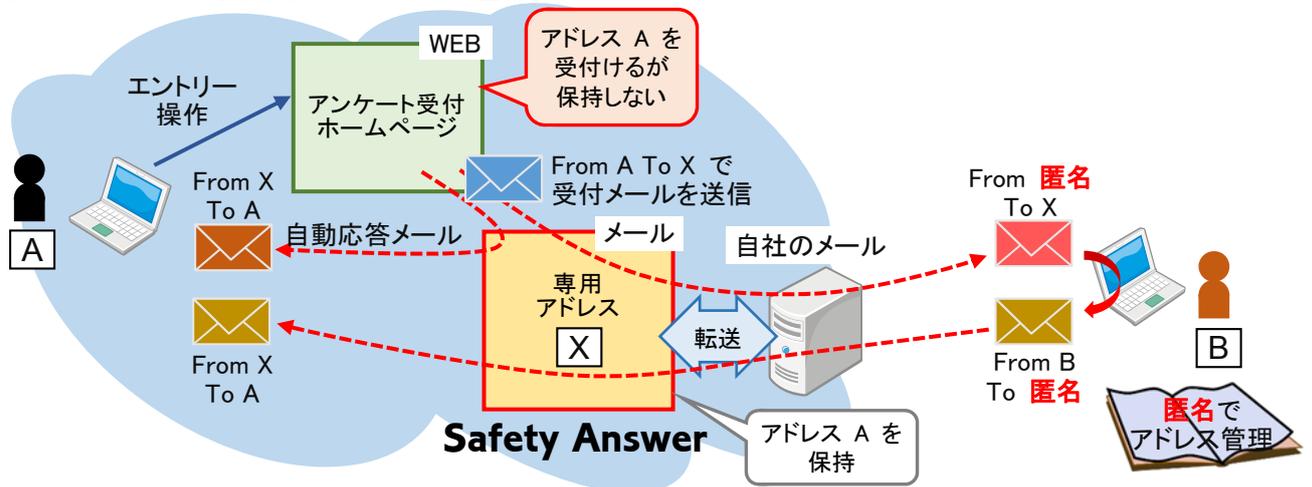
① 消費者向けのアンケート収集や問い合わせの受付

メールを使ってアンケートや問い合わせを匿名で受理でき、匿名の相手に正確に返信できます。

・メールで直接受信・返信



・ホームページから受付してメールで返信



Safety Answer を利用するには、専用アドレス(公開アドレス)が必要になります。

専用アドレスは、弊社の提供するドメインから取得したメールアドレス、弊社で運用する独自ドメインのメールアドレスまたは、弊社以外が運用するメールアドレスが利用可能です。

(但し、弊社以外が運用するメールアドレスに関しては、連携が困難な場合もあります)

② 企業の求人活動

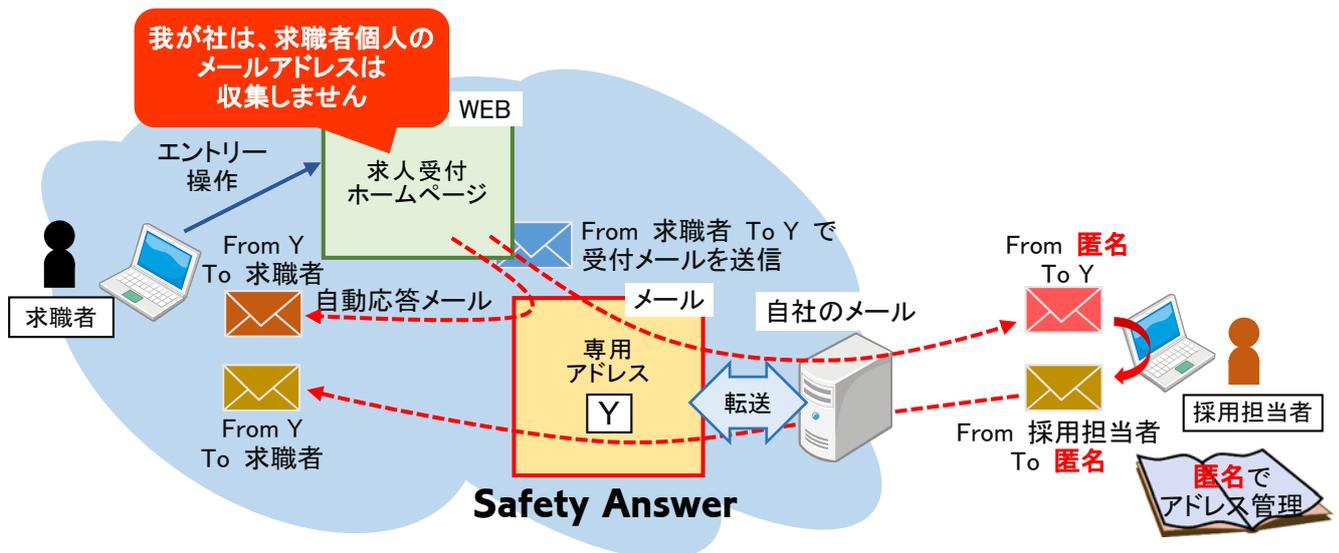
求職者から届くメールの送信者アドレスを匿名化することにより、個人情報(メールアドレスのみ)を収集せずに、求職者本人とメールでの連絡が取り合えます。

メール利用が当たり前となった就職活動ですが、求人する側の企業も収集した求職者のメールアドレスの管理に、細心の注意を払うことを要求されます。

採用担当者の PC に残った求職者のメールアドレスは、完全に破棄されない限り、盗み見られて漏えいする危険にさらされています。その様な情報漏えいのリスクを負っているのが現状です。

「我が社は求職者個人のメールアドレスは収集しません」と宣言して Safety Answer を利用して求人にあたることで、企業が負うリスクを大幅に軽減することができます。

求職者個人のメールアドレスを企業は最初から直接収集することなしに、採用活動が可能になります。また、採用に至らなかった求職者のメールアドレスも、採用担当者の PC からメールを送信する以外にメールを送ることができない為、盗用される心配もありません。



③ 登録会員とのメール連絡

例えば人材派遣業で、登録スタッフとの連絡メールアドレスを匿名化して個人情報を守ります。

自社へ届くメールの送信者アドレスを全て匿名化できて、匿名化されたメールアドレスへ正確にメールを返信できます。さらに、匿名化されたメールアドレスは、メールを受信した人だけが使える専用のアドレスなので、仮に持ち出されて他の PC などから送信しようとしても、メールを送ることはできません。

企業内に蓄積される顧客メールアドレスの情報漏えいリスクを、完全に回避する手段を提供するのが **Safety Answer** です。